



創業 100 周年とその先の事業承継に向けて

鈴木製菓株式会社

- ✓ 代表取締役…鈴木 浩文 氏(山梨県食品工業団地協同組合)
- ✓ 所在地…山梨県甲府市下曾根町 3400-1

- ✓ 業種…菓子製造業
- ✓ 創業…昭和10年(1935年)

当社は、昭和10年に甲府市湯田で創業し、豆類を主原料とした半生菓子「栗しぐれ」と「京桃山」を主力商品としている会社です。創業当時からあんこの自社生産にこだわり、あんこから菓子製造まで自社で一貫して行う体制をとっています。

栗しぐれは、58年前から製造・販売を行っており、全国的にも「栗しぐれ＝鈴木製菓」と認識してもらうほど、広く一般家庭に浸透している商品です。元々は長野県の飯田で作られていた菓子であり、当時から人気商品であったことから、鈴木製菓でも作ってみたいかと提案を受けたことが、当社で作り始めたきっかけです。天然原料を用いた自然な味わいや食べきりサイズの個包装と低価格であることから、お茶の間や寄合いの定番菓子として高い支持を得ており、シンプルだからこそコンスタントに愛されるロングセラー商品となっています。

平成20年の第25回全国菓子大博覧会では、菓子業界において最高賞である「名誉総裁賞」をいただくなど、流通・小売を含めた業界内において

も、高い認知度とブランド力を有しています。また、平成30年には、ものづくり補助金で導入したあんこの水切りを行う機械設備で新商品開発に取り組み、抹茶ミルク栗しぐれの試作品が完成しました。現在商品化と販売に向け準備を行っておりますので、楽しみにしていただければと思います。

皆さまに愛され支えられてきた当社は、2035年に創業100周年を迎えます。大きな節目を前に、事業承継の準備として、息子が3代目となる予定で、現在台ヶ原の金精軒製菓株式会社で菓子製造や会社経営の勉強をしています。今後は、経営体制の一新に合わせて働き方改革の推進や人材

育成に取り組んでいくとともに、上質な白あんを生かした商品の高付加価値化に挑戦し、新たなブランドイメージの変革を目指していきたいと思っています。



担当：浅野